

# 日本三景・松島で海洋少年団が体験乗船会を開催

～子供たちに海への興味と海洋少年団の活動への関心を高めてもらうために～

東北運輸局海事振興部海事産業課

(公社)日本海洋少年団東北地区連盟塩釜海洋少年団は、10月18日(土)に宮城県松島湾において、海洋少年団団員と海に関心を寄せる子供たち及び保護者等を対象に「体験乗船会」を開催しました。

このイベントは、四面を海に囲まれた我が国において、輸出入貨物の99.7%が船舶により輸送されるなど、海上輸送は我が国の経済・国民生活を支える上で極めて重要な役割を果たしているにも拘わらず、国民の海に対する理解度は必ずしも十分とは言えず、また、海洋少年団の団員数も最も多かった時期の10分の1ほどに減少していることから、東北運輸局では、海事思想の普及と海洋少年団の活性化を図るため、地元海洋少年団に働きかけ、東北内航海運組合、東北旅客船協会などからの支援と第二管区海上保安本部とも連携し実現したものです。

10時に始まった体験乗船会には、総勢42名(海洋少年団団員男子3名、女子2名、他子供2名、保護者等27名、講師1名、スタッフ7名)が参加し、乗船に先立ち、「救命胴衣の着用方法講習」さらに運航中「ロープワーク教室」が行われました。

船内では、遊覧船船長が操船の様子を直接見ることもでき、船長から港内に停泊する船舶の説明や東日本大震災では松島湾内の島々が防波堤の代わりになって周辺地域の津波被害を軽減してくれたことなどが紹介されました。

50分ほどのクルーズを終え、下船後、記念品(海洋少年団の活動や関係団体の紹介パンフレットなど)やお弁当などを手渡し、成功裡のうち無事に終了しました。



(乗船前の救命胴衣着用訓練)



(船内でのロープワーク教室)



(船内の様子)



(松島湾)



ああ！楽しかった！



最後に全員で記念写真です！

今後とも海事思想の普及と海洋少年団の活性化の取組みに尽力していきたいと思っております。